

近畿作物・育種研究会 第 190 回例会講演プログラム

令和 3 年 6 月 26 日 (土) 13:30～

一般講演 (発表 12 分, 質疑応答 3 分) を Zoom を用いたオンライン形式で行います.

トピック: 近畿作物育種研究会・第 190 回例会

<https://kobe-u-ac-jp.zoom.us/j/87869411740?pwd=cEN3TGhWVWkFIRXp3MIJLSE9jRFUvZz09>

ミーティング ID: 878 6941 1740

パスコード: 494525

13:30-13:35 開会の挨拶・連絡

13:35-16:55 一般講演

16:55～ 事務連絡など

座長: 森 直樹 (神大院農)

13:35-13:50

稲村 達也[○]・絹島 歩・岡田 憲一 (橿原考古学研)

X 線 CT 計測による弥生時代の出土ブロックに内在する穂軸の維管束の評価

13:50-14:05

堀元 栄枝[○] (京都工繊大)

京都市の児童ランドにおけるメリケントキンソウ (*Soliva sessilis*)

14:05-14:20

堀端 章[○]・加藤 恒雄 (近大生物理工)

催芽処理にともなう玄米および白米の GABA 増加に関する遺伝変異

14:20-14:35

加藤 恒雄[○]・堀端 章 (近大生物理工)

イネの穎花数/穂に関連する/GN1A/座における新規多粒型アレル

14:35-14:45 休憩

座長: 堀端 章 (近大生物理工)

14:45-15:00

牛尾 昭浩^{○1}・松本 純一¹・宮脇 武弘² (1 兵庫農林水産技術総合センター, 2 加西農業改良普及センター2)

パン用小麦「せときらら」の高タンパク・多収施肥技術

15:00-15:15

谷坂 隆俊○・竹生 敏幸（吉備国際大院地域創成農）
葉菜類の成長に及ぼす土壌微生物活性剤の効果

15:15-15:30

☆竹生 敏幸○・許 冲・谷坂 隆俊（吉備国際大院地域創成農）
土壌微生物活性剤の利用による野菜株腐病の予防

15:30-15:45

☆山口 周治○・坂本 春香・築山 拓司・種坂 英次（近大院農）
エノキタケ栽培品種‘初雪’の共優性マーカー（SSR および InDel）の作出

15:45-15:55 休憩

座長：許 冲（吉備国際大院地域創成農）

15:55-16:10

☆吉田 凌也○・芳中 雄一郎・種坂 英次・築山 拓司（近大院農）
易変性を示すイネ品種‘イセヒカリ’における転移因子の解析

16:10-16:25

☆有地 菜緒○・笹山 大輔・深山 浩・畠中 知子・東 哲司（神大院農）
浮稲性遺伝子 SNORKEL1/2 を持たない浮稲品種の特徴

16:25-16:40

☆水本 晃那○^{1,2}・谷尾 昌彦¹・中園 江¹・内野 彰¹・渡邊 和洋¹・東 哲司²（1 農研機構・中日本農業研究センター，2 神戸大学大学院農学研究科）
春播性小麦において早い時期の麦踏みは幼穂分化を遅延し分げつ数を増加させる

16:40-16:55

☆宮川 文宏○¹・森田 隆太郎²・柴谷 直幹¹・高堂 愛子¹・笹山 大輔¹・畠中 知子¹・東 哲司¹・深山 浩¹（1 神大院農，2 東大院農）
イネ葉鞘における CRCT によるデンプン合成関連遺伝子の発現調節とその品種間差

16:55～ 事務連絡など

☆：優秀発表賞エントリー課題

○：発表者